

水道水の保存期間についての検証実験 【経過第6報】

平成27年6月1日から開始した検証実験は、約5ヶ月が経過しました。

冷蔵庫保存したペットボトルの水道水の塩素が消えてからは、1ヶ月以上の経過になります。

しかし、常温で保存した水道水も含め、塩素が0でも、今回も細菌の繁殖がほとんどありませんでした。生活用水での利用はまだまだ可能であると考えられます。

消毒の効果は大きいですね。

<条件A>

市販されているミネラルウォーターのペットボトルと、ホームセンターで購入できるポリタンクです。

容器	ペットボトル2ℓ	ポリタンク10ℓ
----	----------	----------

<条件B>

部屋で普通に置いておく場合と、冷蔵庫に入れて保存する場合です。冷蔵庫には、ペットボトルのみ入れることにしました。

保存場所	常温倉庫	冷蔵庫（約5℃）
------	------	----------

<条件C>

保存する時に、空気中の雑菌の有無が影響を及ぼすことが予想されますので、容器に空気が入っているか否かで分けてみました。

密閉状態	容器に空気が入っている	できるだけ空気をいれない
------	-------------	--------------

みなさん、磐田の水は安全だから安心して使いましょう！



©磐田市

検証の途中経過と計画

		冷蔵庫ペットボトル		常温ペットボトル		常温ポリタンク	
		空気なし	空気あり	空気なし	空気あり	空気なし	空気あり
スタート	H27.6.1 実験開始						
1日経過		-	-	-	塩素 0.40 mg/l	-	塩素 0.35 mg/l
2日経過		-	-	-	塩素 0.40 mg/l	-	塩素 0.30 mg/l
1週経過	常温のポリタンク（空気あり） 塩素残留濃度 ゼロ	-	-	塩素 0.20 mg/l	塩素 0.10 mg/l	塩素 0.10 mg/l	塩素 0 mg/l
2週経過	常温のペットボトル、ポリタンク すべて塩素残留濃度 ゼロ	-	-	塩素 0 mg/l	塩素 0 mg/l	塩素 0 mg/l	-
4週経過（1ヶ月後）	H27.6.29	塩素 0.30 mg/l	塩素 0.25 mg/l	一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml
8週経過（2ヶ月後）	H27.7.27	-	塩素 0.2mg/l 一般細菌 0 CFU/ml	-	一般細菌 1 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml
12週経過（3ヶ月後）	H27.8.24	塩素 0.15mg/l 一般細菌 1 CFU/ml	塩素 0.1mg/l 一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml
16週経過（4ヶ月後）	H27.9.24	-	塩素 0mg/l 一般細菌 0 CFU/ml	-	一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml
20週経過（5ヶ月後）	H27.10.19	-	一般細菌 0 CFU/ml	-	一般細菌 1 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml
24週経過（6ヶ月後）	H27.11.16 実験終了	一般細菌	一般細菌	一般細菌	一般細菌	一般細菌	一般細菌

※ 一般細菌は水の中に均等に含まれているわけではないので、一般細菌は測定結果に増減があります。飲料水としての一般細菌の基準値は、100CFU/ml以下となっています。